

藤波こども園

園長だより No. 66 令和3年1月26日 文責 竹原 篤



旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園

あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様には健やかに令和三年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、日々の健康観察や手指消毒をはじめ多くのコロナ対応にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

三学期もコロナ対応のため、始業式を各ホームで行いました。新年の挨拶を交わした後に自分が今年頑張りたいことを発表してくれました。子どもたちは「自分の命を大切にする」「友だちの命も大切にする」「交通安全に気をつける」「雲梯を頑張る」「縄跳びを頑張る」など発表してくれました。

その後、枝先生から写真にある鏡餅の詳しい話を聞きました。「橙」は、おじいちゃんやおばあちゃんからお父さんお母さんへ園児のみなさんへと代々おうちのみなさんが元気に過ごせますようにというおみかんです。「ゆずり葉」は、おじいちゃんやおばあちゃんからお父さんお母さんみなさんへ譲っていく、バトンを渡していくという意味です。「昆布」は、よろこんぶと言って1月に、「あけましておめでとう」とみんなが嬉しいから喜ばしいという意味です。「くし柿」は、いつもにこにこ仲むつまじくという意味です。「お餅」は、どんな形しているかな？

まるいね。かどっこがあったらそこに当たって痛たたたと、けがをするけどまるいと当たってもけがをしない。みなさんの心も身体もこのようにまるくみんなと当たらんとまるく和やかに幸せに暮らせるようにという意味です。お餅はもう一つあり、大きなお餅の上に重ねます。重ねていくことは、さっきと同じようにおじいちゃんやおばあちゃんお父さんお母さんそしてみなさんへ幸せが重なっていきますようにという意味です。「うらじろ」は、表が緑で裏が白い葉っぱで、新しい年を迎えてみなさんの心も気持ちも真っ白で優しい気持ちになりますようにと願いがこもっています。これらをお正月に飾って、今年一年とっても楽しい幸せな年になるといいなというのが鏡餅です。子どもたちは、このお話を静かにしっかり聞いて、うなずいていました。子どもたちをはじめ保護者の皆様にとって幸せな一年となりますように心からお祈りしています。

コロナ禍で例年通りにできないことも多い中ではありますが、下の写真のように凧上げやこままわし・お手玉・あやとり・雪遊び等、子どもたちは友だちと元気よく園生活を楽しんでいます。



月組の「くつきの森」はコロナ対応のため、2班に分かれて2日間で行いました。大自然の中で子どもたちは生き物に触れたり雪遊びをしたりと里山で仲間と共に貴重な体験をしました。



藤波こども園の臨時休業措置について

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症の感染予防にご協力いただきありがとうございます。こども園において感染者が判明すると、関係機関と相談のうえ、感染の拡大を防ぐため臨時休園等の措置をとる場合があります。その判断は、夜間や休日に行う場合や園児が登園後に行う場合も考えられます。その際は、園児の健康、安全を第一に考えると、保護者の皆様には、急なお知らせ（または、急なお迎え）を依頼することをご理解いただきますようよろしくお願いいたします。なお、園児や保護者様の検査結果が陽性になった場合は、必ずこども園までお知らせください。

新型コロナウイルス感染症は、いつ誰が感染してもおかしくない状況にあります。感染者が判明した際には、正しい理解のもと、根拠のないうわさや風評被害が生じないように冷静な対応をお願いいたします。



『雪の園庭』

🌸ありがとうございます🌸

【いただきました】

ほうれん草
絵本
葉ぼたん

青柳区

保護者様より
高島警察署様より
J A西びわこ女性部様より

